

提言5. 仙台教会の社会活動

(1)個人として

・まず私自身が自分の住んでいる地域の情勢などを知り、また会員さん方が地域で行っている社会活動等の把握をし、自ら何ができるかを模索していく。

・信仰が特別なものではなく、地域にあって共に相手を大事にし合い、社会に貢献していくことの大切さを理解していく。

・地域社会のボランティアなどへの参加など、主体的に自ら外部の人と出会い、その人やその組織の考え方を受け入れ、学んでいく。

・私たち一人一人が社会の動き、課題に対してより高い関心を持つ。私たち幹部の意識も高め、社会活動が一部の人の活動にならないようにしていく。

・さまざまな社会活動に若い人を送り出すと共に、自らも一緒に人格の向上を目指して出向いていき、学びを深める。

(2)教会として

・立正佼成会という宗教団体というイメージが強い。しかし、仏教を生活の中でたくさん役立てている所という、参拝しやすい教会づくりをしていく。

・開祖さまの願われる地域社会の平和の実現のために、現在行われている平和活動の内容検討と、会員の意識向上を図るための学びの場が必要である。

・会員さんが今まで大事にしてきた外部のご縁を、そのまま他の会員も共に歩み継承していけるようにする。

・他団体との連携を行なうために、広く情報を収集し教会として催し物に参加する。

・家庭教育や青少年育成、人材育成を目的とする団体と特に情報交換を行い出会う。

・支部単独で神社やお寺の奉仕活動をしているところもある中で、興味のある他支部の方々も受け入れて行う。

・「仙台教会ホームページ」を活用し、悩みごと相談もメールでできるとよい。

・未会員さんが気楽に入れる活動の復活

・宗教・地域を問わず、社会に貢献しようとしている団体やグループとネットワークを作り、交流していく。

・仙台教会周辺地域に対して貢献していく。仙台教会独自のパンフレットを作成し、施設訪問や近隣の神社、教会などを歩かせて頂く。(その中に「英語版」があってもよい)

・立正佼成会の社会活動の概要を広く皆さんに知って頂く広報活動を創意工夫して行っていく。



仙台教会の社会活動